



著者プロフィール

横井 遥（よこい・はるか）

昭和34年 長崎県端島生まれ。
平成7年 「河」入会。
平成11年 「平凡」三十句で角川春樹賞受賞。
平成18年 「河」退会。
平成18年7月 「鴻」入会。
平成19年 第一回「鴻」新人賞受賞。
「鴻」同人。俳人協会会員。

〈句集『男坐り』より転載〉〈2008年9月15日〉

『男坐り』（自選15句）

横井 遥

葉桜となりて桜に音生まる
平凡な乳房がふたつ夕桜
ほうたるを入れたことなき螢籠
繋ぐ手の欲しほうたるを見てをれば
つくつくし自分の字にて荷の届く
すぐ母に替はりし父の初電話
空蟬の背の迷ひなき裂け目かな
猫が猫みたいで冬のあたたかし
俳人のしきりに亀を鳴かせけり
蟬声につつまれて蟬逝きにけり
とんばうの飛ぶと決めたる羽に色
二十人二十一脚天高し
マニキュアを吹いて乾かす三鬼の忌
遊船に灯を入れ男座りかな
囀りや一番高き木の揺るる